

令和4年6月8日

保護者の皆様

小千谷市教育委員会
教育長 松井周之輔

学校生活における児童生徒等のマスクの着用について

向暑の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清栄のことと拝察いたします。日頃より小千谷市の学校教育にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、標記の件について、国における「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」の変更を踏まえ、文部科学省から通知があり、裏面の「マスク着用に関するリーフレット」が示されました。

つきましては、学校においては、下記に示す通知内容等をもとに対応しますが、ご家庭におきましても登下校を含め適切にご指導及びご対応くださるようお願いいたします。

記

1 文部科学省の通知内容について

(1) 基本的な考え方について

- ① 引き続き、基本的な感染対策（「三密の回避」、「身体的距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いの励行」、「換気」等）は、徹底していく必要がある。
- ② 身体的な距離が十分に取れないときは、マスクを着用すべきである。

(2) 学校生活においてマスクの着用が不要な場面について

- ① 十分な身体的距離（2m以上を目安）が確保できる場合は、マスクの着用は必要ない。
- ② 熱中症などの健康被害が発生するおそれがある場合は、マスクを外す。
- ③ 屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め体育の授業においては、マスクの着用は必要ない。なお、児童生徒の間隔を十分に確保することや、こまめに換気を行う等に留意する。
ただし、十分な身体的距離がとれない状況の中で、呼吸がしづらいリスクや熱中症のリスクがない場合にはマスクを着用する。
- ④ 運動部活動についても、体育の授業に準じつつ、近距離で組み合ったり接触したりする運動等を実施する場合は、各競技団体が作成するガイドライン等を踏まえて対応する。
ただし、以下に記載する場面等ではマスクの着用を含め感染対策を徹底する。
 - ・部室や更衣室等の共有エリアの利用時
 - ・集団での飲食や移動時
- ⑤ 熱中症リスクが高い夏場においては熱中症対策を優先し、登下校時にマスクを外すよう学校及び家庭で指導する。
特に、小学校低学年等判断が難しい年齢の子どもには、登下校時に屋外でマスクを外すよう積極的に声をかける等の指導が必要である。その際、人と十分な距離を確保し、会話を控えることについても併せて指導する。

(3) 配慮事項

- ・熱中症対策を講じた上で、様々な理由からマスクの着用を希望する児童生徒等に対しては、個別に対応する。

2 その他

- ・様々な理由によりマスクを着用できない児童生徒もおりますので、マスクの有無によって差別やいじめの対象とされることのないよう、学校及び家庭で引き続き指導していく。

担当：学校教育課 管理指導主事 岩田 上村 電話：83-3519
--